

五好の精神 誓い新た

創立10周年記念式典で、生徒を代表して謝辞を述べる谷口健太郎さん。同養父市の第一学院高校養父校



第一学院高養父校10周年

国の構造改革特区の認定を受け、株式会社が運営する通信制高校、第一学院高校養父校が養父市大谷の旧大谷小学校に開校して10年になるのを記念し、7日、同校で創立10周年記念式典が開かれ、教育関係者や但馬地域の生徒ら約130人が出席した。

式典で、同高校の生駒富男理事長が「開校以来、体験学習や宿泊などで多くの地域の人に理解と協力をいただいた。これまでに7780人が卒業、修了したことを誇りに思う」とあいさつ。広瀬栄・養父市長が「養父校には昨年度だけで西日本から2100人の生徒がスクーリングに来ている。その経済効果はさつと1億円、10年で10億円。新時代にふさわしい学校に発展していくことを祈念する」と祝辞を述べた。

また、生徒を代表して3年次生谷口健太郎さんが「私の好きな言葉は旧大谷小学校の『五好の精神』の『人の役に立つ』ことを好きになること。本校が地域に役立つよう努力を積み重ね、後輩たちに伝えることを誓う」と謝辞を述べた。

この日は、定期的に通学する生徒たちが運営する文化祭「五好祭」があり、バターゴルフのコーナーやうどんなどの模擬店が営まれ、式典会場には生徒や市民の作品が展示された。

同養父校は2008年に開校。卒業生にサッカーJ1・ウィッセル神戸の岩波拓也選手らがいる。

(甲斐俊作)

【承諾番号：17-5623 朝日新聞社に無断で転載することを禁止します。】